

幼保小 架け橋プログラム 特集号

幼児教育、小学校教育に携わっている先生方は、既にご存じだと思いますが、国では、令和4年度から『幼保小の架け橋プログラム』を推進しています。大田区においても、幼保小の円滑な接続を実現するため、架け橋プログラムへの取り組みが必要と考えています。

幼児教育センターでは、この取り組みの一環として、今年度から架け橋期カリキュラム研修会を開催します。幼児教育施設と小学校の先生が共に研修会に参加いただき、相互理解を深めることにより、架け橋プログラムへの取り組みや幼保小の交流・連携の促進を図っていきます。

📌「幼保小の架け橋プログラム」とは？

『幼保小の架け橋プログラム』とは、幼児教育と小学校教育を円滑に接続するために、架け橋期の教育の充実を推進する全国的な取り組みです。文部科学省が令和4年度から3か年程度を念頭に、モデル地域を中心に進めているところです。こどもに関わる大人が立場を超えて連携し、「架け橋期」にふさわしい主体的、対話的で深い学びの実現を図り、一人一人の多様性に配慮したうえで、すべてのこどもの学びや生活の基盤を育むことをめざすものです。

★「架け橋期カリキュラム」とは？

～これまで～

「接続期」 5歳児（年長）10月～小学校1年生夏休み頃まで

～今は～

「架け橋期」 5歳児（年長）～小学校1年生の2年間

「アプローチカリキュラム」

遊びや生活を通じて、スムーズに小学校生活へ移行（適応）できるように作成されたカリキュラム

一体化

「スタートカリキュラム」

入学当初（4～5月頃）に実施される幼稚園・保育園から小学校へのスムーズな移行を目的としたカリキュラム



「架け橋期カリキュラム」

就学前施設での生活と小学校生活のギャップによるこども達のつまずきをなくし、小学校生活への円滑な移行につなげます。



架け橋期の2年間を一体のものと捉え、幼稚園、保育園、小学校が共通の視点を持ち、共同作成していきます。